

令和3年度9月補正予算（案）

主要施策 参考資料

津 島 市

9月補正予算の概要（定例会分）

予算規模 一般会計 1億8,638万8千円

主な事業（別添参考資料を参照）

施策名	予算額	資料番号
会議室のネットワーク環境を整備します	589万2千円	1
保育所等にICT環境及び翻訳機を整備し、保育の充実を図ります	509万3千円	2
津島地区医療センターを支援します	1,137万6千円	3
海部地区急病診療所を支援します	253万5千円	4
【津島市民病院事業会計】 コロナ患者さんの入院環境を充実します ～「ふるさとつしま応援寄附金」を活用～	855万6千円	5
市民の方からいただいた寄附金を『歴史・文化のまちづくり』に役立てていきます	2億4千円	6

会議室のネットワーク環境を整備します

令和3年8月19日（木）

津島市総務部総務デジタル課（辻村、崎本）

電話番号 0567-55-9609（ダイヤルイン）

補正予算額 589万2千円

コロナ禍によるリモート会議や研修の増加に伴い、密を避けながら会議を行う必要があるため、各会議室等にネットワーク整備を行いリモート会議ができる環境を整えます。また、可搬型大型ディスプレイを配置してリモート会議やWEBによる説明会視聴への環境の強化を図ります。

会議室ネットワーク整備事業

＜ネットワーク整備（12か所）＞

津島市役所

- ・ 1階 会議室、相談室3か所
- ・ 2階 会議室
- ・ 3階 会議室、市長執務室、副市長執務室
- ・ 4階 大会議室、中会議室
- ・ 5階 第一委員会室、第二委員会室

＜リモート会議用機器設置＞

- ・ 大型ディスプレイ
可搬型75インチタッチパネル付液晶
- ・ リモート会議用PC
市長公室ほか 計6台



保育所等に I C T 環境及び翻訳機を整備し、保育の充実を図ります

令和 3 年 8 月 19 日 (木)

津島市健康福祉部子育て支援課(佐藤、藤倉)

電話番号 0567-24-1120 (ダイヤルイン)

補正予算額 509万3千円

新型コロナウイルス感染予防対策の強化を図るため、公立保育所等に園児の登降園の管理、保育に関する計画・記録、保護者との連絡業務等に係る I C T を活用した管理システムを導入します。また、外国籍の保護者への連絡やコミュニケーションを容易にするため、通訳や翻訳のための機器等を購入することで、保育士等の業務負担の軽減を図ります。なお、民間保育所等にも同様の事業を実施するための補助をします。

○ 公立保育所等新型コロナウイルス感染予防対策 I C T 化事業 235万5千円

公立保育所等に I C T を活用した管理システムの導入や翻訳機等を整備します。

<対象施設>

共存園保育所、新開こども園

○ 民間保育所等新型コロナウイルス対策 I C T 化推進補助事業 273万8千円

民間保育所等に I C T を活用した管理システムの導入や翻訳機等を整備します。

・管理システムの導入

<対象施設>

蛭間保育園、あたごこども園

・翻訳機の整備

<対象施設>

民間保育所等全 11 園



津島地区医療センターを支援します

令和3年8月19日（木）

津島市健康福祉部健康推進課（棚橋、岡本）

電話番号 0567-23-1551

補正予算額 1,137万6千円

新型コロナウイルス感染症が拡大する中、休日診療の役割はますます重要となっています。
休日診療を継続的に維持していくため、津島地区医療センター指定管理者に対して支援金を支出します。

津島地区医療センター指定管理者支援金 1,137万6千円



津島地区医療センターについて

指定管理者：津島市医師会

所在地：津島市藤浪町4丁目14番地

診療科目：内科、小児科

診療日：日曜日、祝日、年末年始

受付時間：午前8時30分から11時30分まで

午後1時から4時30分まで

海部地区急病診療所を支援します

令和3年8月19日（木）

津島市健康福祉部健康推進課（棚橋、岡本）

電話番号 0567-23-1551

補正予算額 253万5千円

新型コロナウイルス感染症が拡大する中、地域医療の役割はますます重要となっています。
地域医療を継続的に維持していくため、海部地区急病診療所組合に対して委託料を増額することにより支援を行います。

海部地区急病診療所平日夜間診療委託料 253万5千円



海部地区急病診療所について

（愛西市、弥富市、あま市、大治町、蟹江町、飛島村が事務組合として設立）

所在地：津島市莪原町字郷西 37

コロナ患者さんの入院環境を充実します ～「ふるさとつしま応援寄附金」を活用～

令和3年8月19日（木）

津島市民病院事務局経営企画課（吉田、塩満）

電話番号 0567-28-5151（内線2280）

補正予算額 855万6千円

新型コロナウイルスの感染が継続する中、市民病院では、適切な感染防止対策をとりながら医療提供に努め、地域住民の命と健康を守る役割を果たしています。新型コロナウイルス感染症の影響を乗り越え、市民病院が質の高い医療体制を継続していくために寄せられた「ふるさとつしま応援寄附金」を活用して、新型コロナウイルス感染症対応病棟（5階西病棟）の入院環境の充実を図ります。

ふるさとつしま応援寄附金活用事業

「洗髪車」、「診療用空気圧式マッサージ器」、「電動リモートコントロールベッド」を整備します。

・患者さんの洗髪作業、足浴作業ができる「洗髪車」

若い世代の入院が増え、入院中の洗髪の要望が高まっていることから、ベッド周辺で患者さんの洗髪作業、足浴作業ができる「洗髪車」を5台整備。

・静脈の血行を促進する「診療用空気圧式マッサージ器」

安静が必要な患者さんの足を空気圧で圧迫することにより、静脈の血行を促進し、静脈血栓塞栓症の予防及び血流の停滞や浮腫（むくみ）を軽減する「診療用空気圧式マッサージ器」を4台整備。

・離床を検知する「電動リモートコントロールベッド」

安静が必要な患者さんのために、また、認知症の患者さんの安全確保等のために、正確な離床検知判定が可能な「電動リモートコントロールベッド」を12台整備。

・体重180kgまで対応可能な「電動リモートコントロールベッド」

体重が著しく重い患者さんの受け入れは、従来のベッドでは困難なため、体重180kgまで対応できる「電動リモートコントロールベッド」を1台整備。



市民の方からいただいた寄附金を 『歴史・文化のまちづくり』 に役立てていきます

令和3年8月19日（木）

津島市市長公室シティプロモーション課（前田、三輪）

電話番号 0567-55-9589（ダイヤルイン）

補正予算額 2億4千円

市民の方より、本市の歴史・文化のまちづくりに関する事業への活用を目的に2億円をご寄附いただきましたので、『歴史・文化のまちづくり基金』に寄附額に対する預金利子額と合わせて積み立て、歴史・文化のまちづくりに役立てていきます。

歴史・文化のまちづくり基金積立金

本市の歴史・文化を活かしたまちづくりの推進のための財源に充てることを目的とした基金で、過去には山車蔵修景2件に計2千万円を充当しています。



『歴史・文化のまちづくり基金』を活用した山車蔵修景の事例（平成29年度）